

植物多様性センターの「サネカズラの実」

園内の数ヶ所でサネカズラの果実が赤く熟してきています。サネカズラはマツブサ科で常緑性のつる植物です。雑木林エリアのマツカゼソウの向かいの株が最も立派に果実をつけています。赤く色付いた果実は動物に見つかりやすく、食べられることで種子を散布させます。果実がついている部分は花床(又は花托)が丸く膨らんだものになります。花床とは花柄の先端部分のことです。果実にはリグナン系の成分が含まれていて咳を抑える効果等があるそうです。



1ヶ月ほどで赤く熟す。



鳥についばまれ、露わになった花床。



果実の中には2~5つの腎形の種子が入っている。



常緑性だが、秋が深まり寒くなるとだんだん紅葉してくる。